



計画研究B01班代表
藤尾 慎一郎
国立歴史民俗博物館



分担者
木下 尚子
熊本大学



分担者
山田 康弘
国立歴史民俗博物館



分担者
清家 章
岡山大学

NEWSLETTER



青谷上寺地遺跡出土人骨
鳥取県埋蔵文化財センター提供

古代人ゲノム・考古学班，研究スタートします！

B01班考古学「考古学データによるヤポネシア人の歴史の解明」の研究は、A02班古代人ゲノム(篠田謙一代表)と共同でDNAと年代測定用の試料を得ることから始まります。本年度は、昨年度から鳥取県埋蔵文化財センターとの間で進めてきた機構間連携・異分野連携研究プロジェクト(斎藤成也代表)で対象とした鳥取県青谷上寺地遺跡^{あおやかみじち}出土人骨などです。青谷上寺地遺跡は殺された老若男女の骨が多数見つかった弥生後期の遺跡として有名です。人びとの死亡年代やDNAから何がわかるのでしょうか。乞うご期待。

本研究の特色は、炭素14年代測定結果に基づく数値年代を基準に、歴史を考えることにあります。そのためには、人骨の炭素14年代測定が不可欠です。